

# 社会〈S〉



## 環境変化に強い人材を育成し、モノづくりを通じて社会に寄与。

豊田合成グループは、良き企業市民として、各国・地域に根ざした事業活動および社会貢献活動により、経済・社会の発展に寄与することを目指しています。そのための基盤づくりとして、グローバルに活躍できるプロフェッショナル人材の育成、ダイバーシティや働き方改革などの取り組みを進めています。また、一人ひとりの個性を尊重するとともにチームワークによって総合力を高め、活力と働きがいのある企業風土を実現します。私たちはお客様に満足いただくために、変化を先取りした研究開発やモノづくり技術のレベルアップ、サプライチェーンの強化など、絶え間ない改善を続けていきます。

総務・人事本部 本部長  
財津 裕真

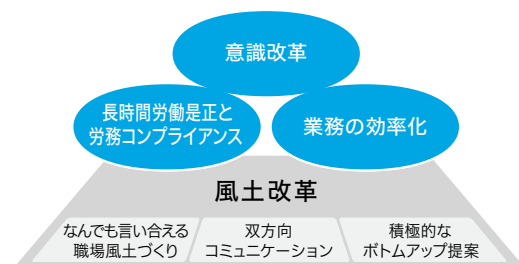
以下の主要 KPI を掲げながら、働きやすく成果を生み出せる職場づくりを進めています。

区分	項目	目標	2018年度実績
1 働きやすい 職場風土づくり	離職率	3.0%以下	1.2%
	平均残業時間	20H/月以下	18.6H/月
	年休取得率	95%以上	97.1%
	非正規社員からの正社員登用数	30人/年	2019年度から登用実施中
	敷地内禁煙	2020年1月実施	勤務時間内禁煙
	女性管理職の人数	18人	16人
2 多様性の促進	新入社員の女性比率	20%	21%
	育児休業取得者率	男性:8% 女性:100%	男性:4% 女性:100%
	外国人従業員数	30人	22人
	障がい者雇用率	2.2%	2.33%
3 人材育成	若手従業員の海外育成出向者数	40人	22人
	社内階層別研修受講率	対象者の100%	99%
	若手従業員3年独り立ちプランの完遂	100%	現在は技術系部門で実施中。 2019年から全社で実施。
	上司と部下の自己申告面談実施率	100%	97%

## 働き方改革・風土改革

2017年度より、従業員一人ひとりが「本来業務をやり切る」ことができるようITを活用した業務の効率化、会議体の見直しをスタート。さらに働き方そのものを変える活動全体を「働き方改革」と位置づけ、さまざまな取り組みを行っています。環境の変化にスピード感を持って対応し、仕事の質を高められるよう、これまで以上に職場でのコミュニケーションを密にし、ムダの廃除やメリハリある働き方を進めていきます。

### 働き方改革の3つの柱



## 製造工程での品質確保と品質問題への対応体制

クルマの基本性能(走る・曲がる・止まる)を支え安全に直結する部品(重要保安部品)の生産工程を中心に自工程完結<sup>※1</sup>を進めています。世界のお客様から「品質の豊田合成」と評価いただけるよう、全拠点で「品質安心宣言活動」<sup>※2</sup>を推進。自動化<sup>※3</sup>による「不良をつくれない・流さない“工程づくり”」と、品質に対する感性を高めて「ミスをしない“人づくり”」の両輪で品質向上に取り組んでいます。さらに国内外の全工程で専任監査員による監査・改善を行っています。

市場で品質問題が発生した場合は、自動車メーカーからの情報に基づき速やかに原因を調査して、再発防止策を実

行できる体制を確立しています。また、原因究明・解決が自社だけでは困難な場合は、テスト車両による検証などに基づく的確な再発防止策を自動車メーカーの品質部門とともに講じ、以降の製品の品質不具合を未然に防止しています。

- ※1 各工程で品質確保に必要な行動を全て行うことにより、工程内で品質をつくり込み、後工程に不良を流さないようにすること
- ※2 全員参加による品質改善の取り組みのこと。製造工程の全ての係が「人づくり」と「工程づくり」の両輪で品質改善を実施。目標とする品質を確保できる仕組みができ上がった段階で、各係長が社長や拠点長に対し「安心宣言」を行い、社長・拠点長自身が現地現物で監査する
- ※3 機械設備の異常や、品質の異常、作業遅れなど何らかの異常が生じた際に、機械設備が自ら異常を検知して自動で停止するか、作業者自身が停止スイッチを押すかして、ラインを止められるようにすること

## サプライチェーンマネジメント

調達基本方針のもと、サプライヤーの皆様とパートナーシップを深め、さらなる成長・発展とともに目指しています。

### 調達基本方針

#### 1. グローバル最適調達

当社は製品用原材料、製品・部品、生産設備、金型等の調達に関し、グローバルな観点に立って、品質、価格、量・納期、技術に加え、継続的な改善活動を踏まえた上で、公平・公正な姿勢で購入することを展開しています。また、サプライヤーからの新技術・工法、新商品等のご提案を歓迎いたします。

#### 2. 相互信頼に基づく相互発展

当社は取引を通じて長期ビジョンの中で、相互発展を図っていききたいと考えています。そのためには、サプライヤーとの緊密なコミュニケーションにより強い信頼関係を築くことを目指しています。

#### 3. 環境保護と法遵守の徹底

当社は開発・設計、生産活動を通じて環境保護と法遵守に注意を払っています。そのために「環境負荷の少ないものの調達」、「環境負荷を減らすための活動」を実践しています。また、調達活動において関連する法遵守と機密保持徹底に十分な注意を払っています。

## ともに成長するサプライヤー支援

サプライヤーの体質強化を現地・現物で支援し、ともに成長できるよう取り組んでいます。重要な品質問題を防ぐための標準作業の整備や不良流出の防止、競争力向上のための原価低減に加え、金型・製品設計へのサプライヤーの参画

などを支援しています。また分科会活動を通じて、品質面では品質向上に必要な情報をサプライヤーと共有。防火・防災・安全においては、労働安全衛生法の遵守の点検やリスクアセスメントなどを行い、安全な職場づくりを支援しています。

## グリーン調達の推進

「環境マネジメントシステムの構築」、「法令遵守と環境パフォーマンスの向上」、「化学物質管理」からなる、当社の「グリーン調達ガイドライン(第4版)」を基に、環境に配慮した調達を進めています。環境負荷の低減に向けて、サプライヤーの社内組織・体制の充実と生産活動のレベルアップを図り、ISO14001の認証取得・省エネ・排出物削減などの成果を上げています。また化学物質のグローバル

での規制強化に対応し、調達品の化学物質の成分把握を行っています。さらに欧州 ELV<sup>※4</sup>指令や欧州 REACH 規制<sup>※5</sup>への対応や、VOC<sup>※6</sup>管理などをサプライヤーと一体となって進めています。

- ※4 使用済み車両(End of Life Vehicle)
- ※5 化学物質の登録・評価・認可・制限に関する規則(Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)
- ※6 揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)